

白鷗足利29年甲子園

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座003350-0-407
©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179
(受付・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売局 028-625-1120
広告局 028-625-1133
事業局 028-625-1134

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
ダイヤル 0120-810081

HP「下野新聞SOON」
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

携帯サイト「下野新聞SOON」
<http://mobile.shimotsuke.co.jp/>

白鷗足利の甲子園での戦いぶりも速報。もちろん県内ニュースも
月額262円



優勝を決め、マウンド付近で喜びを爆発させる白鷗足利ナイン
＝25日午後2時ごろ、宇都宮市の清原球場

▽決勝 (清原)

宇南	1	1	0	0	0	0	0	0	2
白鷗足利	0	0	0	2	2	2	0	0	6

▽三塁打 伊沢、岩井 (宇) 山田 (白)

宇南に6-2逆転勝ち

大会5日目、清峰(長崎)と対戦

第90回全国高校野球選手権記念栃木大会最終日は25日、宇都宮市の清原球場で決勝を行い、白鷗足利が宇都宮南を6-2と下し、29年ぶり3度目の優勝を果たした。足利学園から校名変更になって初めての甲子園、足利勢の優勝は21年ぶりとなる。全国大会は8月2日に阪神甲子園球場で開幕、白鷗足利は1回戦で清峰(長崎)と大会5日目の第1試合で対戦する。

甲子園まであと1勝となる決勝は独特のふん囲気が漂う。こんな中、白鷗足利は序盤で先取点を奪われる嫌な展開となったが、力で「勝利の女神」を引き込んだ。
2点を追う立場となった白鷗足利は4回、1死2、3塁から新藤自らの中前タイムリーで1点。四球を挟んで、千田も押し出しの四球を選んで同点とし、試合を振り出しに戻

勢いは白鷗足利に。続く5回には田中の四球を足場に、山田の左越え三塁打で1点を奪い勝ち越し、さらに主砲・池沢の右犠飛で2点目を奪い、序盤に宇都宮南にあつた試合の主導権を完全に奪い返した。
6回には倉井、千田の連続四死球で1死1、2塁とし、林のバントが捕手の三塁悪投を誘い、労せず1点、さらに田中が中前にはじき返して2点目を奪い、ダメ押しした。
宇都宮南は初回到2死1塁から主砲・伊沢の右中間3塁打であつさり1点を先制。2回にも2死2塁から岩井の中間越え3塁打で1点を加点、序盤で主導権を握る理想的なすべり出しを見せた。しかし、3回以降、白鷗足利エース新藤の前に快音が出ず、春、夏連続甲子園出場への夢は果たせなかった。